

令和 8 年度 実施計画
みやぎの英語教育推進計画に係る「児童生徒への支援」について

生徒の意欲を高める外部試験の実施

1 英語能力測定テスト事業【義務教育課】

(1) ねらい

英語能力測定テスト（英検 IBA）を活用し、生徒の学びの主体性を促すとともに、生徒の英語によるコミュニケーション能力の向上とグローバル人材の育成を目指す。

(2) 対 象

県内の市町村立及び県立中学校 2 年生、県立特別支援学校中等部 2 年生（中学部 2 年に準ずる教育課程で学習する生徒）

(3) 内 容

英語能力測定テスト（英検 IBA）の実施及びフィードバック

2 英語能力測定テスト（英検 IBA）の活用【高校教育課】

(1) ねらい

英語能力測定テスト（英検 IBA）を活用し、生徒の英語力を CEFR レベルに照らして客観的に把握して授業改善に生かすとともに、生徒の学習の自己調整に活用できるようにする。

(2) 対 象

県立高等学校（分校、定時制課程含む）の高校 2 年生

※ 3 か年をかけて全校で実施

(3) 内 容

英語能力測定テスト（英検 IBA）の実施及びフィードバック

生徒の自主学習支援

3 Miyagi English Library【義務教育課、国際政策課】

(1) ねらい

中学生のレベルに合わせた宮城県に関する英語問題を作成・公開することで、生徒の家庭学習や自主学習を支援するとともに、生徒の英語学習への意欲を喚起する。

(2) 対 象

中学校 1 年生～中学校 3 年生

(3) 内 容

ALT 等が作成した宮城県に関する読み物問題（ALT Journal）の公開

みやぎの英語教育推進計画に係る「教員への支援」について

研修の充実

1 外国語指導力向上研修会【総合教育センター】

(1) ねらい

本県の英語教育の現状を把握し、外国語指導における課題を明確にするとともに、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動を主とした授業づくりを通して、教員の更なる指導力向上を図る。

(2) 対 象

小学校・中学校及び義務教育学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、市町村教育委員会担当者

(3) 内 容

- 全国学力・学習状況調査の結果分析等を授業改善に生かす取組の紹介
- 「主体的・対話的で深い学び」の実現のための言語活動を主とした授業づくりの実践
- ALT との効果的なティーム・ティーチング

2 外国語指導助手の指導力向上研修【義務教育課、国際政策課】

(1) ねらい

宮城県の JET プログラムによる外国語指導助手（以下 ALT）が、日本人教員と共により一層効果的な指導ができるような研修を行い、本県の英語教育の充実を目指す。

(2) 対 象

JET-ALT 及び小学校・中学校及び義務教育学校教員、特別支援学校教員、市町村教育委員会担当者

(3) 内 容

ALT と日本人教員の効果的なティーム・ティーチングの在り方についての研修

3 英語科研修会【総合教育センター】

(1) ねらい

小・中・高の円滑な接続に向けて、指導方法等を共有し校種間の連携につなげるとともに、言語活動とその評価等に関して理解を深め、指導力の向上を図る。

(2) 対 象

- 小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、義務教育学校、中等教育学校、私立学校の主幹教諭・教諭
- 大学生

(3) 内 容

- 県内の大学と連携し、小・中・高等学校の教員と学生が合同で行う演習と協議
- 希望する校種の授業参観と実践報告

4 要請による指導主事訪問【高校教育課、総合教育センター】

(1) ねらい

各市町村教育委員会・学校からの要請に応じ、研究授業の参観及びその検討会等を通して指導主事が指導・助言を行うことにより、指導力向上を図る。

(2) 内 容

指導案検討、研究授業、検討会

5 発信型英語指導力向上研修会【総合教育センター】

(1) ねらい

高等学校生徒の英語による発信力を高めるため、教員の指導力向上を図る。

(2) 対 象

公立高等学校及び中等教育学校後期課程の英語担当教員

(3) 内 容

外部講師による講義及び英語教育推進リーダーによるワークショップ等

6 発信型英語教育拠点校事業【高校教育課】

(1) ねらい

日常的な話題や社会的な話題について、情報や考えなどの概要や要点、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、それらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる高校生の育成を目指す。

(2) 対 象

研究のための拠点校 3校（地域型）

(3) 内 容

- 英語の発信力を高めるための授業研究及び小中学校と連携を図った授業研究
- 研究成果の発表の場としての研修会及び講演会等の開催
 - ・ 学習指導要領に基づく英語授業の成果と課題の検証
 - ・ 近隣小中学校との連携
 - ・ 公開授業等の実施
 - ・ 外部講師による研修会等の実施
 - ・ 先進校視察

研究成果の活用

1 総合教育センター専門研究「外国語教育」に関する研究【総合教育センター】

(1) ねらい

専門研究外国語教育グループが行った研究をウェブサイトで公開することで、県内の小・中・高等学校に成果と課題を普及し、外国語科担当教員の授業づくりの一助とする。

(2) 内容

「英語で自分の考えや気持ちを伝え合う児童生徒を育てる授業づくり」

- 外国語科におけるやり取りを継続・発展させ、自分の考えを広げ深められる生徒の育成（令和7年度 中学校外国語）

<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/mnavidata/25J0023.pdf>

- 主体的に学び、英語で話したい内容や自分の思いを伝えることができる児童の育成（令和6年度）

<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/mnavidata/24J0001.pdf>

- 英語を用いて自分の思いを伝え、相手との円滑なコミュニケーションを図ることができる児童の育成（令和6年度）

<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/mnavidata/24J0011.pdf>

- 英語で自分の思いや考えを表現し合う力を伸ばす学習指導を目指して（令和5年度）

<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/mnavidata/23J0003.pdf>

- 英語を用いて自分の思いを整理し、目的に応じて表現できる児童の育成（令和5年度）

<https://www.edu-c.pref.miyagi.jp/mnavidata/23J0009.pdf>